

創業から45年。大栄環境グループのあゆみは、地域との絆づくりと可能性への挑戦の連続でした。創業当初は最終処分場建設への厳しい反対を受けるも、地域からの理解を得て出発。「廃棄物は資源」という考えのもと、廃棄物処理事業に加えていち早くリサイクル事業に着手し、阪神・淡路大震災時には災害廃棄物処理に尽力しました。

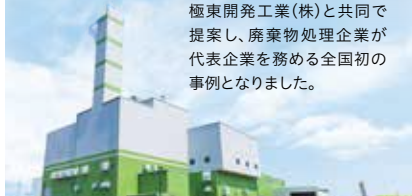
「創造・改革・挑戦」を理念に環境創造企業へと舵を切った後は、さまざまな環境関連事業を展開し、廃棄物処理施設を核としたエネルギーの地産地消「地域循環共生圏」の構築を目指し始めます。2022年には東証プライム市場に上場。現在は、循環経済の実現や資源循環を進化させる技術革新に向け、自治体や地域企業、大学など産官学で連携。一社では解決が困難な環境・社会・経済課題に対し、未来に向かって協働できるパートナーと一緒に挑戦しています。



2013年

5社共同で滋賀県近江八幡市の一般廃棄物処理施設の整備・運営を提案・受託

地域のエネルギーセンターの整備・運営をDBO方式※2により受託。グループ会社の三重中央開発(株)と、三菱重工環境・化学エンジニアリング(株)、(株)秋村組、極東開発工業(株)と共同で提案し、廃棄物処理企業が代表企業を務める全国初の事例となりました。



2014年

イオングループと食品リサイクルループを構築

イオングループの店舗から出る食品廃棄物を堆肥に変え、イオン直営農場で使用。栽培した野菜を各店舗で販売するリサイクルループを実現させています。



2020年

プラントメーカーと共同で、食品廃棄物のバイオガス発電事業会社を設立

(株)神鋼環境ソリューションと共同で、バイオガス発電事業を行うリエネルミエ(株)を三重県伊賀市に設立。大栄環境(株)が製造する食品バイオマス由来のメタンガスを燃料に2023年3月から稼働しています。



大栄環境グループのあゆみ

- 1979 大阪府和泉市に大栄環境株式会社を設立
- 1980 大阪府和泉市に管理型最終処分場を開設
- 1986 RDF(固形燃料)化施設を保有する西宮リサイクルセンターを開設
- 1995 阪神・淡路大震災発生後、災害廃棄物処理に尽力
「皆が助かれば良い」
採算よりも復興を願って持てる知識と技術を全て注ぎ込んだ
- 1997 安定的な経営を目指し第1次経営計画を策定
- 2001 和泉リサイクル環境公園を最終処分場跡地にオープン
- 2013 廃棄物処理時に発生するエネルギーを発電や温熱に利用する廃棄物複合型リサイクル施設「三重エネルギープラザ」を開設
焼却炉・焙焼炉・炭化炉を備え、地域へ熱供給



災害廃棄物
処理の様子



※2 DBO：地方自治体が資金を負担し、設計(Design)、建設(Build)、管理・運営(Operate)を民間に委託する方式

2021年～

社会インフラを支えるため、 自治体と公民連携協定を 締結

地域の廃棄物処理を集約化し、効率的に資源やエネルギーに変えて地域に還元していくための公民連携を進めています。現在は3つの地域の自治体と協定を結び、リサイクルセンターやエネルギーセンターの建設に向けた準備を進めています。

2023年

大学と共同開発した 「次世代ごみ収集システム」 の実証実験を実施

連結子会社の(株)大栄環境総研は早稲田大学との共同研究を通じて、ごみを含むさまざまなものを運搬する自律走行モビリティとスマートごみ箱を開発。清掃員不足やウィルスの感染拡大といった社会問題を解決する「次世代ごみ収集システム」として実証実験を行いました。

2023年

「循環型社会形成推進に係る連携協定」を締結

2022年4月に施行されたプラスチック資源循環法を受け、大栄環境(株)は2023年4月に大阪府岸和田市と、また2024年3月には岐阜県羽島市と、ごみの減量化、再資源化および再商品化などの廃棄物施策に係る調査や研究、事業の実施などに連携して取り組むことを目的に協定を締結。環境負荷の少ない持続可能な循環型社会の形成を目指します。

2024年

廃プラスチックからガスをつくり、 メタノールを合成する実証実験を完了

リサイクル困難な雑多なプラスチックを活かしてカーボンニュートラルに貢献するために——。2022年から国内初となるプロジェクトを大阪府、堺市の協力を得て、(株)神鋼環境ソリューション、三菱ガス化学(株)、三菱化工機(株)、連結子会社のDINS関西(株)と共に推進。2024年3月に環境省補助による実証実験が完了し、商用化に向けた独自の検証を継続しています。

2024年

リサイクルのトータルコーディネートサービス 「iCEP PLASTICS」を開始

(株)八木熊、ユニアデックス(株)、連結子会社の資源循環システムズ(株)と大栄環境(株)は、各社の強みを活かした廃プラスチックの動静脈連携の推進を図り、回収から再生樹脂化、成形加工、製品化までをワンストップで提供できるサービスの提供を開始しました。



<https://icep-plastics.rcs-dx.jp/>

2014

最終処分場跡地を活用し
太陽光発電事業開始

2016

株式会社総合農林を子会社化
森林保全事業に参入

2020

プラスチックパレットを製造する
株式会社プラファクトリー設立

2021

熊本県上益城郡5町などと地域循環共生圏推進に
向けた契約を締結

2022

三重県伊賀市にメタン発酵施設と
堆肥化施設を開設

2022

12月14日、東京証券取引所
プライム市場に上場

初値は公募価格1,350円を
27%上回る1,710円、
終値は1,796円

2024

監査等委員会設置会社へ移行

